



岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

平成 29 年 9 月 29 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2017 年第 38 週
(9/18~9/24)

- RSウイルス感染症は前週より減少していますが、患者報告数の多い状態が続いています。
- 手足口病は減少していますが、岐阜市・岐阜・恵那保健所管内で、引き続き警報レベルとなっています。
- 流行性耳下腺炎は、県全体では減少傾向にあるものの、飛騨保健所管内で患者報告数の多い状態が続いています。

■ 定点把握対象疾患の発生動向（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

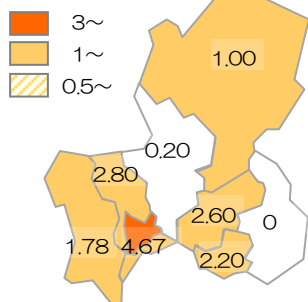
レベル	疾患名	基準	該当保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	手足口病	定点当たり 5 人以上 (2 人を下回るまで継続)	岐阜市 (2.78)、岐阜 (2.60)、恵那 (3.50)
注意報レベル	なし		—

※定点当たり報告数が一定の基準を超えた場合、保健所単位で「警報・注意報レベル」を発信しています。

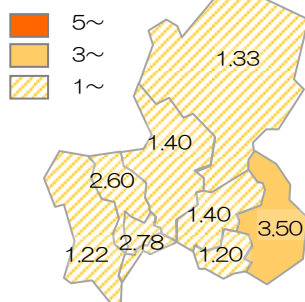
警報レベルは大きな流行が発生または継続していると疑われることを、注意報レベルは流行の発生前であれば今後 4 週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

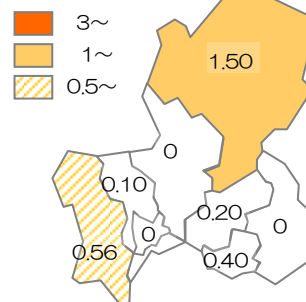
<RSウイルス感染症>



<手足口病>

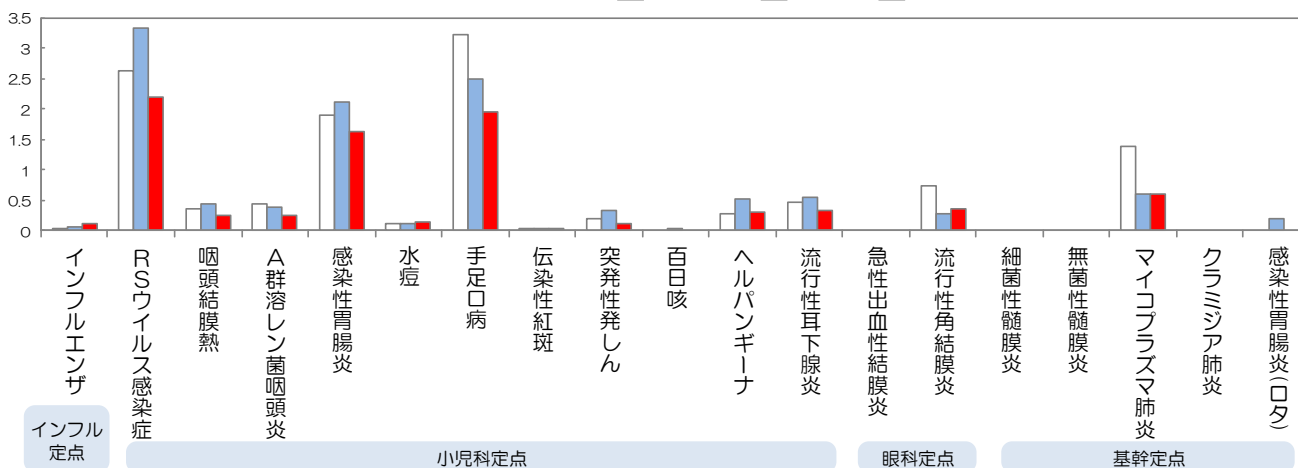


<流行性耳下腺炎>



● 直近 3 週の推移

□ 前々週 □ 前週 ■ 今週 （縦軸は定点当たり報告数）



■ 全数把握対象疾患の発生動向

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 9 例
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 3 例
- 4 類感染症：なし
- 5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

感染症発生動向調査週報（IDWR） <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

※今週のトピックスはありません。

岐阜県感染症情報センターHP <http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>

<情報編>